

# 招魂と慰霊の系譜

「靖國」の思想を問う

國學院大學研究開発推進センター編

「招魂と慰霊の系譜」を問いなおす

「靖國問題」に代表される近代日本に於ける慰霊・追悼のあり方や招魂・顕彰といった問題に迫る画期的論集。客観的かつ実証的な研究から「招魂と慰霊」についての思想的対立を超えた真の自由な議論を導く。

國學院大學研究開発推進センター「慰霊と追悼研究会」成果論集の第三弾。貴重な論考を多数収録。



本体3,400円

平成25年3月発行  
A5判・上製・カバー装・352頁  
ISBN978-4-7646-0296-0

## 目次

「招魂と慰霊の系譜―「靖國」の思想を問う―」  
刊行に寄せて  
〔阪本是丸〕

靖國神社における戦没者の合祀基準の形成  
―明治期に関して―  
〔赤澤史朗〕

招魂社から靖國神社への発展〔津田 勉〕

靖國神社と白金海軍墓地  
〔坂井久能〕

靖國神社境内整備の変遷と「国家神道」  
―帝都東京における慰霊の「公共空間」の  
理想と現実―  
〔藤田大誠〕

慰霊・追悼の政治性・宗教性  
―問題視される「慣習」とは何か―  
〔藤本頼生〕

海外慰霊巡拝覚書き  
―千葉県・栃木県護国神社主催、「東部ニュー  
ギニア慰霊巡拝」の事例から―  
〔中山 郁〕

南洲墓地・南洲神社における薩軍戦没者  
の慰霊と祭祀  
〔宮本誉士〕

「国家による戦没者慰霊」という問題設定  
〔菅 浩二〕

書店様番線	注文数	招魂と慰霊の系譜	本体 3,400 円(税別) (ISBN978-4-7646-0296-0)
	冊	霊魂・慰霊・顕彰	本体 3,400 円(税別) (ISBN978-4-7646-0284-7)
	冊	慰霊と顕彰の間	本体 3,200 円(税別) (ISBN978-4-7646-0282-3)
	冊		
	お名前		
	ご住所		
		お電話	